

2000年3月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦はノルウェー海付近とグリーンランドの西端に分かれて分布していた。東アジアから太平洋北部と、グリーンランドの東からヨーロッパ北部、ロシア西部には強い負偏差が見られた。一方、北極付近からシベリアの沿岸部、バフィン島付近で強い正偏差が見られた。大西洋東部から中東、東アジアを経て太平洋に至る亜熱帯ジェットは平年よりやや強く、また北偏していた。日本域の偏西風もおむね北寄りで中心付近は平年より強かった。

850 hPa 高度および風ベクトル分布図によると、インド洋から東南アジアにかけては南北両半球で低気圧性偏差循環が卓越し、赤道付近では西風偏差が顕著だった。150°W 付近より西側の赤道太平洋では東風偏差が卓越したが、東側では先月までは見られなかった低気圧性偏差循環が南北両半球に存在し、赤道付近は西風偏差となった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、大規模発散域の中心はアラフラ海にあり、平年に比べて約30度西に偏っていた。ブラジル付近に見られる発散中

心は平年より約5度東側に位置していた。

SOI (南方振動指数) は+1.0 (暫定値) となった。

世界の天候

①朝鮮半島から中国の高温

中国のウーハン (武漢) で13.7°C (+3.8°C)。

②中国南部からインドシナ半島の多雨

タイのチュンボンで342 mm (692%)。

③ヨーロッパ北部からトルコの多雨

チェコのプラハで89 mm (318%)。ルーマニアやロシア南西部で大雨と融雪による洪水の被害が報じられた。

④ヨーロッパ西部からアフリカ北西部の高温

⑤地中海周辺の少雨

⑥米国東部からメキシコ東部の高温

⑦米国中西部からカリブ海諸国の少雨

米国中部のノースリトルロックで0 mm (平年値124.2 mm)。米国中西部や南部では昨年から続く少雨傾向により干ばつの懸念が報じられた。

⑧ベネズエラの多雨

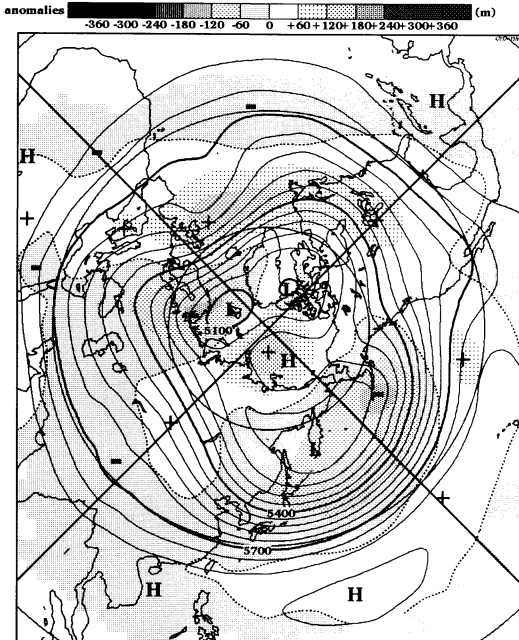
⑨アルゼンチン北部からチリ南部の低温

⑩ミクロネシアの高温

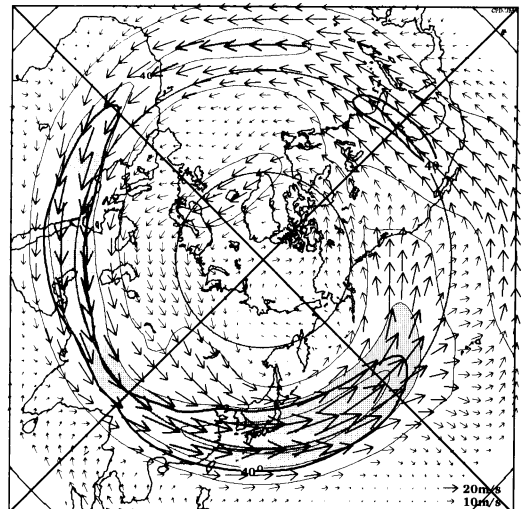
⑪オーストラリア北部から西部の低温

⑫オーストラリア西部の多雨

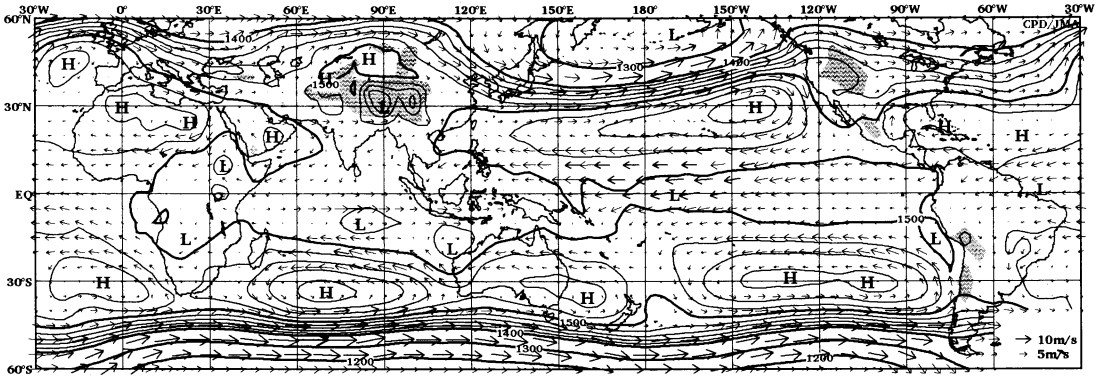
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 山田和孝)



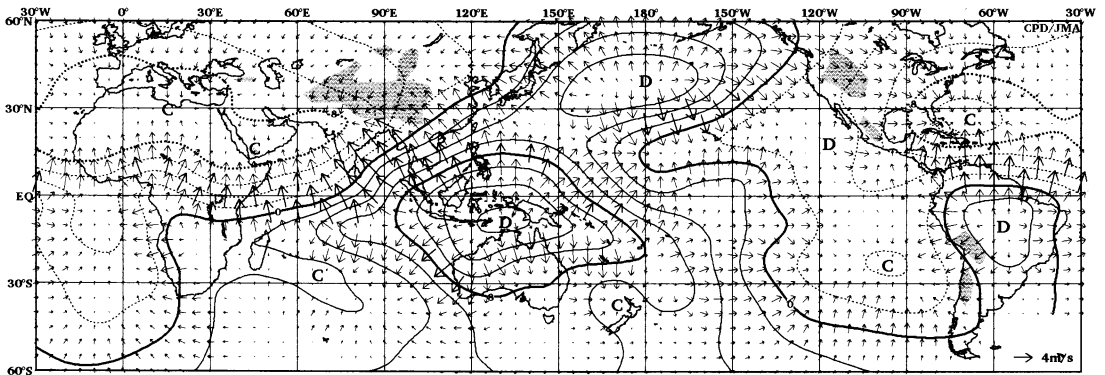
2000年3月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



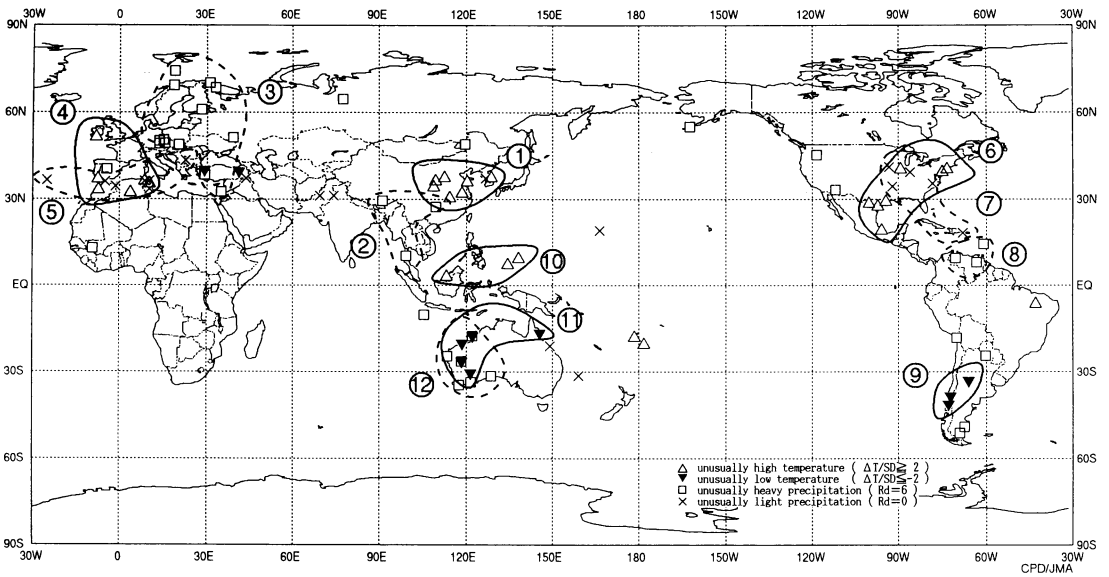
2000年3月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は平年で40 m/s以上, 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



2000年3月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 m までは100 m)



2000年3月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は 2×10^6 m²/s



2000年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.